

## 令和7年度静岡県人権啓発センター事業実績

## 1 指 標

「静岡県が人権尊重の意識が定着した県となっている」と感じる人の割合の上昇を図るため、人権啓発センターの各種人権啓発活動に参加する県民の増加を目指す。

## ○県民への人権尊重意識の定着状況

「静岡県が人権尊重の意識が定着した県となっている」と感じる人の割合（目標：50%）  
（単位 %）

基本理念の指標（年度）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（～第2次改定） 「静岡県が人権尊重の意識が生活の中に定着した住み良い県となっている」と感じる人の割合（%）	48.2	—				
（第3次改定） 「静岡県が人権尊重の意識が生活の中に定着した県である」と感じる人の割合（%）	—	39.5	42.1	37.7	30.4	40.0

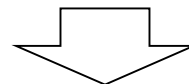
\*県政世論調査結果（R6年度は「人権問題に関する県民意識調査」結果）

<R7県政世論調査の概要>

対 象	選挙人名簿から県内在住の満18歳以上の県民（無作為抽出）		
対象数	3,000人	回収数（率）	1,572（52.4%）
方 法	設問を郵送（回答は郵送又はWEB）設問数 計48問		

<R6人権問題に関する県民意識調査の概要>

対 象	選挙人名簿から県内在住の満18歳以上の県民（無作為抽出）		
対象数	3,000人	回収数（率）	997（33.2%）
方 法	設問を郵送（回答は郵送又はWEB）設問数 計30問		



## 【年代別分析】

「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」

⇒前年度と比較し、18～19歳を除いて上昇。

「そう思わない」・「どちらかといえばそう思わない」

⇒前年度と比較し、18～19歳及び40歳代を除いて上昇。

（単位 %）

年 代	・そう思う ・どちらかといえばそう思う				・そう思わない ・どちらかといえばそう思わない			
	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7
18～19歳	50.0	55.5	45.5	28.6	18.8	0.0	9.1	0.0
20歳代	37.7	29.9	26.7	40.5	17.5	17.5	4.4	10.1
30 "	26.1	30.4	24.1	33.0	15.5	15.9	5.1	18.6
40 "	32.1	24.7	26.4	30.0	15.4	15.7	14.4	13.2
50 "	41.5	34.5	29.1	34.7	12.0	13.7	4.6	14.7
60 "	43.4	40.6	26.8	38.2	12.0	9.7	7.0	11.5
70歳～	55.2	50.0	40.2	52.2	6.5	8.8	5.2	9.0

## 2 事業の実施状況

### (1) 人権週間を中心とした啓発活動

#### ア マスメディアなどを活用した啓発広報

ポスター掲出	12月上旬（人権週間を含む1週間） ・JR、私鉄各駅構内、学校、官公庁（国・県・市町関係機関等） 掲出数：1,431箇所
テレビスポット CM放送(15秒間)	放送期間：12月4日～10日 民放2局・テレビスポット15秒CM×（12回+12回） ・パブリシティ60秒CM×2番組×1回
インターネット	配信期間：12月1日～14日 バナー広告 Instagram・LINE・TVerによるSNSの活用、YouTubeでの動画配信、特設サイトの開設等

#### イ 講演会等の開催

第1回 人権講演会	7/16(水)～8/5(火) アーカイブ(YouTube)配信 ○講師：古田 大輔 氏（日本ファクトチェックセンター編集長） ○演題：「ファクトチェックとリテラシー ～フェイクとヘイトに飲み込まれないために～」 ○聴講申込：342人
第2回 人権講演会	2/3(火)～2/24(火) アーカイブ(YouTube)配信 ○講師：川端 伸子 氏（一般社団法人権利擁護支援プロジェクトともす 代表理事） ○演題：「今から取り組む、私自身の権利擁護 ～私らしく、生ききるために～」 ○聴講申込：238人
ふじのくに 人権フェス ティバル	12/9(火) 伊豆の国市葦山文化センター 【第1部】 ○第44回全国中学生人権作文コンテスト 静岡県大会入賞作品表彰式／優秀作品朗読 ○ふじのくに人権宣言の唱和 【第II部】 ○講演会 講師：さくらいりょうこ 氏（オカリナ奏者・著者） 演題：「苦難を乗り越えて見つけた幸せ～生きる意味と選択のチカラ～」 ○参加者：276人 ○主催/共催 ：静岡県人権啓発活動ネットワーク協議会（静岡地方法務局・静岡県人権擁護委員連合会・静岡県・静岡県教育委員会・静岡市・静岡市教育委員会・浜松市・浜松市教育委員会）/伊豆の国市

(2) 人権週間以外の啓発活動

ア 研修関連事業

(ア) 出前人権講座

		令和6年度		令和7年度 *2月末時点		派遣先機関(例)
		回数	人数	回数	人数	
派遣先	市町機関	8	332	4	152	4市町
	県機関	10	709	12	953	人事課、警察学校、 消防学校
	学校	27	3,842	25	4,460	公立・私立の小中学校、 高等学校
	企業	5	193	6	385	製造業、生命保険、 エネルギー関連
	団体	18	773	16	535	医療、福祉、教育
	計	68	5,849	63	6,485	—

(イ) 人権教育・啓発指導者の養成

人権啓発 指導者 養成講座	・アーカイブ(YouTube)配信 (配信期間：8月8日(金)～28日(木))	
	講座	講師
	人権総論 ～人権保障の砦・裁判所～	根本 猛氏 (静岡県人権啓発センター長)
	同和問題 ～私は部落から逃げてきた～	西田 昌矢氏 (フリージャーナリスト)
	リスクとの付き合い方を考える情報 モラル教育の指導	酒井 郷平氏(常葉大学教育学部 学校教育課程 准教授)
	LGBTQ+出張講座	NPO 法人 ASTA
	外国にルーツを持つ子ども・若者の現状 と課題	田中 宝紀氏(特定非営利活動法人 青少年自立援助センター、定住外国人 支援事業部 責任者)
	発達障害を手がかりとして考える 人権について	橋口 亜希子氏(株式会社 Bridges to Inclusion 代表取締役、発達障害 を手がかりとしたUD コンサルタント)
	不登校ひきこもりの親が幸せな理由	後藤 誠子氏 (笑いのたねプロジェクト代表)
	旧優生保護法の歴史	石川 智里氏(静岡地方法務局 人権擁護課 人権擁護係長)
静岡県教育委員会の人権教育・ 人権に関わる市町の実践紹介	静岡県教育委員会教育政策課・藤枝市	
○聴講申込：581人(民生委員、人権擁護委員、県市町職員、教職員、企業)		

### (ウ) 子どもの自尊感情を育むためのセミナー

<p>第1回 子どもと大人の 温かい絆づくり セミナー</p>	<p>8/1(金) 静岡県総合社会福祉会館シズウエル ○講師：松原 美里 氏 (合同会社ウメハナチャイルドケアコミュニケーションズ・ 保育コミュニケーション協会 代表) ○受講者：18人 ○主催：静岡県人権啓発センター、静岡県教育委員会、一般社 団法人静岡県保育連合会、公益社団法人静岡県私立 幼稚園振興協会</p>
<p>第2回 子どもと大人の 温かい絆づくり セミナー</p>	<p>10/15(水)～11/4(火) アーカイブ(YouTube)配信 ○講師：橋口 奈生 氏 (一般社団法人Seeds growth coaching代表理事) ○聴講申込：525人 ○主催：静岡県人権啓発センター、静岡県教育委員会、一般社 団法人静岡県保育連合会、公益社団法人静岡県私立 幼稚園振興協会</p>

### (エ) 企業向けセミナー

<p>企業と人権 セミナー (経済産業省 委託事業)</p>	<p>1/9(金)～1/29(木) アーカイブ(YouTube)配信 ○講師：岩本 愛弓 氏 (一般社団法人ココロバランス研究所主任研究員) ○演題：『カスタマーハラスメントから従業員の尊厳と 安全な職場を守る「組織的対応」』 ○聴講申込：268人 ○協力：静岡労働局</p>
--	--

### (オ) 人権ユニバーサル事業

<p>障害者スポーツ 体験</p>	<p>8/23(土) 静岡県総合社会福祉会館シズウエル ○障害者スポーツの普及を目的に活動している団体(静岡県障 害者スポーツ協会)と連携し、パラスポーツ体験(ボッチャ、 フライングディスク、車いすバスケ体験及びスラローム)を 通して、障害のある人の人権を啓発 ○参加者：111人 *当プログラムを含むイベント「フェスタシズウエル2025」内 で開催</p>
-----------------------	---

(3) 相談業務  
ア 人権相談

(単位:件)				
区 分	R 6	R 7 *2月末時点	相談事例	紹介等の相談窓口 (例)
女 性	1	0	・夫からのDVについて相談した諸機関への不満	・性犯罪被害 110 番 ・女性の悩み相談 ・県警ふれあい相談室
子 ども	3	1	・生徒間トラブルのため、別室登校が続いている	・県・市教育員会 ・こども家庭 110 番 ・県総合教育センター ・子ども・若者相談センター
高 齢 者	3	1	・入所施設での施設側からの嫌がらせと対応への不満	・高齢者・障害者 総合支援センター ・地域包括支援センター ・みんなの人権 110 番
障 害 者	9	5	・医療機関の対応への不満 ・家族が無理やり入院させようとしている	・静岡県福祉サービス 運営適正化委員会 ・静岡県精神保健福祉会 ・みんなの人権 110 番
同和問題	0	0		
外 国 人	0	2	・外国人の人権に関するリーフレット配布の要望	・県多文化共生総合相談センター かめりあ ・外国人人権相談ダイヤル
そ の 他 人 権	50	50	・職場での嫌がらせ、 パラハラ ・デマの流布	・みんなの人権 110 番 ・労働局職場の明るい応援団 ・違法・有害情報相談センター
合 計	66	59	—	—

※「その他人権」の主な内訳  
行政・警察等への苦情等、近隣トラブル、職場内トラブル、家庭・親族問題 など

イ えせ同和行為への対応

(単位:件)		
	令和6年度	令和7年度(2月末時点)
1 相 談	0	0
※情報提供含む		
2 えせ同和行為排除啓発講演会 (隔年開催) 10/30(木) 静岡地方法務局会議室からWEB配信		
○講演 ・ 県人権同和対策室長 ・ 静岡県弁護士会民事介入暴力対策委員会 ・ 公益財団法人静岡県暴力追放運動推進センター		
○ビデオ上映 えせ同和行為対策啓発ビデオ		
○参加者 : 90人		
*主催 : 静岡県えせ同和行為対策関係機関連絡会 (静岡地方法務局、静岡県、静岡県警察本部、静岡県弁護士会等)		

(4) 県民による自発的学習への支援

ア 啓発教材の貸出

ビデオ・DVD・図書 の貸出  図書 1,251冊 ビデオ・DVD 498本	(単位：件)						
		令和6年度			令和7年度 *2月末時点		
		映像	図書	計	映像	図書	計
	学 校	2	0	2	3	0	3
	企 業	1	0	1	0	0	0
	団 体	7	0	7	1	0	1
	個 人	62	101	163	55	110	165
	行政機関	0	0	0	1	0	1
	講演会等	0	0	0	0	0	0
合 計	72	101	173	60	110	170	

イ 啓発誌等の発行

人権啓発センター だより「じんけん」		令和6年度	令和7年度
	発行部数等	通巻82～84号 各6,200部	通巻85～87号 人権啓発センター ホームページ上で 公開

\*送付先:企業、学校、団体、国、県、市町関係機関等

(5) 市町への支援

法務省 地域人権啓発 活性化事業 (市町実施分)・地 方再委託費 (国10/10)	(事業内容)		
	・講演会の開催、人権啓発資料の配布等 ・花の育成を通じた児童生徒への人権啓発		
		令和6年度	令和7年度(見込み)
	東部	沼津市、熱海市、富士市、 東伊豆町、函南町 (3市2町)	沼津市、熱海市、富士宮市、 西伊豆町、 (3市1町)
	中部	焼津市、藤枝市、牧之原 市、吉田町 (3市1町)	焼津市、藤枝市、御前崎市、 吉田町 (3市1町)
西部	磐田市、袋井市、掛川市 (3市)	磐田市、袋井市、掛川市 (3市)	
合計	12市町 国費8,514千円	10市町 国費9,071千円	

県交付金事業 ( 県 1/2 市町1/2 )	(事業内容) ・市町が実施する人権啓発事業への助成(講演会、地域指導者研修、講師派遣、啓発用資機材整備等)																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度(見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>沼津市、熱海市、富士市、伊豆市 (4市)</td> <td>沼津市、伊豆市、富士市、 (3市)</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>藤枝市、島田市(2市)</td> <td>藤枝市、島田市(2市)</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>掛川市、湖西市、菊川市、森町 (3市1町)</td> <td>菊川市、掛川市、袋井市、湖西市、森町 (4市1町)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10市町 県費1,038千円</td> <td>10市町 県費1,385千円</td> </tr> </tbody> </table>		令和6年度	令和7年度(見込み)	東部	沼津市、熱海市、富士市、伊豆市 (4市)	沼津市、伊豆市、富士市、 (3市)	中部	藤枝市、島田市(2市)	藤枝市、島田市(2市)	西部	掛川市、湖西市、菊川市、森町 (3市1町)	菊川市、掛川市、袋井市、湖西市、森町 (4市1町)	合計	10市町 県費1,038千円	10市町 県費1,385千円
		令和6年度	令和7年度(見込み)														
	東部	沼津市、熱海市、富士市、伊豆市 (4市)	沼津市、伊豆市、富士市、 (3市)														
	中部	藤枝市、島田市(2市)	藤枝市、島田市(2市)														
西部	掛川市、湖西市、菊川市、森町 (3市1町)	菊川市、掛川市、袋井市、湖西市、森町 (4市1町)															
合計	10市町 県費1,038千円	10市町 県費1,385千円															
市町との情報共有	9/29(月)市町人権施策推進担当課長会議(35市町)Zoom開催 ○市町における人権施策推進計画の策定に関する検討依頼、静岡県人権施策推進計画(第3次改定版)の概要説明、部落差別解消推進法の概要説明、性的指向・性自認をめぐる人権問題、再犯防止等に係る人権施策の検討依頼、インターネット上の差別表現への対応 他 ○講演「カスタマーハラスメントに関する県の取組」 講師：渡邊 夏樹 氏(静岡県経済産業部産業人材課 主任)																

## (6) その他事業

社会を明るくする 運動啓発の発信	・社会を明るくする運動の強化月間(7月)に静岡市役所、浜松城、静岡大学浜松キャンパスなど県内各所でイエローライトアップを実施 ＊静岡保護観察所、社会を明るくする運動静岡県推進委員会、各県健康福祉センター、各市町等との協働の取組
---------------------	--